

令和3年度 佐賀県学習状況調査の結果（令和3年12月1、2日実施・6年生）

- ◎ 本資料では、東部小学校全体（各学年）の結果について考察しています。別紙にてお知らせしている、「お子様の個票（調査結果票）」や、後日配布します問題用紙及び解答用紙と併せて振り返っていただき、今後の学習に活かすことができるような資料としてお役立てください。

1 【国語】

(1) 結果（県の正答率との比較）

「話すこと・聞くこと」については、県平均正答率を上回りました。

一方で、言葉に関する「知識・技能」、「書くこと」、「読むこと」については、県平均正答率を下回り、到達基準（県の定めた期待正答率）も下回りました。

(2) 成果と課題（学校正答率より）

知識・技能

- ・ 文と文との接続の関係、敬語、主語と述語の関係、比喩の表現の工夫の理解について課題が見られました。

話すこと・聞くこと

- ・ 話し合いにおいて、司会の役割を理解し話し合いを進めること、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめることができている。聞いた事柄を基にして確かめたい点を質問することに、少々課題が見られました。

書くこと

- ・ 図を用いて、書き表すことができている。一方で、文章の構成を考えること、引用したり目的に応じたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題があります。

読むこと

- ・ 目的に応じて必要な情報を見付けることができている。一方で、文章全体の構成を捉えること、文章の要旨を把握することに課題があります。

2 【算数】

(1) 結果（県の正答率との比較）

「思考・判断・表現」、「数と計算」、「変化と関係」、「データの活用」については、県平均正答率を上回りました。また、無解答率も県より低かったです。

一方で、「知識・技能」、「図形」については、県平均正答率、到達基準を下回りました。

(2) 成果と課題（学校正答率より）

数と計算

- ・ 示された計算の仕方の共通点に着目し、分数のわり算の計算の仕方について説明することができています。一方で、示された図から単位分数を捉え、分数のわり算の答えを求めることに課題があります。

図形

- ・ 平行四辺形、ひし形の性質を理解し、面積を求めることに課題があります。

測定・変化と関係

- ・ 単位量当たりの大きさを基に説明すること、数量の関係を捉え基準量と比を基に比較量を求めることができている。一方で、示された情報を基にして板1枚当たりを使うペンキの量を求め方を説明すること（記述式）に課題があります。

データの活用

- ・ データを集めて2つの観点から分類整理する方法を理解すること、グラフに着目し示された考えが正しくない理由を説明することに課題があります。